

会議等経過報告書

件名	平成30年度 第2回大船渡市民文化会館運営審議会
日時	平成31年1月25日（金）10:00～11:00
場所	リアスホール マルチスペース
出席者	市民文化会館運営審議会委員 10名 欠席委員 佐藤幾子委員、志田悠介委員、鷺田あかね委員 事務局 木川田企画政策部長、千葉館長、水野補佐、田代係長、谷川企画運営員、熊谷主事
報告者	企画政策部 市民文化会館 熊谷 堯之

会議の概要

1 開会（進行：千葉館長）

2 挨拶（木川田企画政策部長、矢作会長）

3 報告（進行：矢作会長）

事務局（水野補佐）から、資料をもとに以下について説明。

「報告第1号 平成29年度市民文化会館決算状況について」

「報告第2号 平成30年度市民文化会館主な貸館・自主事業実施状況（4～9月分）について」

「報告第3号 平成30年度市民文化会館年度別施設稼働状況（4～9月分）について」

「報告第4号 平成30年度市民文化会館施設利用者数状況（4～9月分）について」

委員からの質問等は特になし。

4 協議（進行：矢作会長）

事務局（水野補佐）から、資料をもとに以下について説明。

「協議第1号 平成31年度市民文化会館事業運営（自主・共催事業予定）について」

（佐々木フミ子委員）

利用状況を見ると、会館の自主事業よりも、一般団体が主催するイベントの来場者が勝っている印象がある。

もっと、お客さんが入るような方法を考えてはどうか。

（水野補佐）

その通りだと思う。

自主事業については、市民のニーズを考えて選定に努めてはいるものの、思うように集客につながっていないという実状は確かにある。

ただ、29年度自主事業の大ホールでの集客数は100人前後と少なかったが、30年度からは多少でも集客を図るため入場料の割引制度を設けたところ、現在まで300人前後で推移している。

反面、割引料金にしたことで収益の減少が見られ、少々悩ましいところではあるが、今後もより

集客につなげられるような努力をしていきたい。

(千葉賀子委員)

お客さんを集めるには、市民のニーズを考慮することは大事だが、例えどんなに素晴らしい演奏家であっても、その方がどれだけ多くの市民に知られているかということが非常に大きいと思う。

メディアの力は大きいので、それがテレビ等に出演しているような方であると、実際に行って聞いてみようという意識も起こりやすくなるのではないか。

また、見ていると自主事業には似たような内容の演奏会が多く、聞きに来る方々も大体決まってしまう客足が遠のく一因にもなると思うので、予算が限定されている中難しいことではあるが、もう少し工夫が必要だと思う。

料金の件については、例え収益が上がらなくとも、お客さんのために様々な工夫をされていることが分かったのが良かった。

(水野補佐)

“出演者に工夫が必要”との意見は、まさにその通りだと思う。

今年度は、開館 10 周年ということもあって大幅に予算を確保することができ、ボブ・ジェームズさんのジャズコンサート等、大きなイベントも開催することができた。

ただ、やはり地方のホールということで、存在が知られていないということがあると思うので、リアスホールそのもののPRも必要だと思うし、メディアに取り上げられている方を呼べるような作品選びにも頑張っていきたい。

ただ、出演交渉に半年ないし一年を要する場合もあり、一概に上手くいかないこともあるが、そういったメジャーな出演者の方も招致できるよう努力していきたい。

(千葉館長)

自主事業については、市の広報誌や当館の情報誌を作成して配布するなどしており、さらに今年度は新聞広告と一緒にテレビCMも活用して事業のPRを行った。

様々な媒体を通じて情報を発信しているが、なかなか集客につながらないというのはそのとおりである。

また、自主事業の公演で似たような内容のものが続くという点については、繰り返し行うことにより徐々に集客につながっていく面もあるものと考えている。

(千葉賀子委員)

例えば、全国ツアーを組んで各地を回っている演奏家等の情報を察知し、リアスホールでの公演につなげるという方法はとれないか。

(水野補佐)

県内の会館施設とは、会議や研修会の場もあるし、互いの催しのPRのためにチラシを置くなどの情報のやりとりも行っているので、それらのネットワークも活用して情報収集に努めたい。

5 その他（進行：千葉館長）

事務局（水野補佐）から、市民文化会館内レストランの今後の活用方法について、昨年 8～9 月に市政モニターから意見をいただいた内容を説明。

（水野補佐）

主な意見としては、以下のとおり。

- ・レストランとして再開するために、1 階から出入りできるよう、芝生を駐車場にできないか。
- ・せっかくの厨房施設を活用したイベントを行ったらどうか。
- ・飲食スペースとして利用できないか。ドリップ式のコーヒー自販機をおいたらいいのでは。
- ・利用者を限定しないフリースペースとして利用できないか。
- ・貸出施設としたらいいのではないか。

これまでは、例えば、施設見学に訪れた小学生の昼食場所として、あるいは、大ホールでの催し物の関係者に、他の施設が借りられない場合の昼食場所として、無料で開放し活用してきた。

また、市内高校の試験期間中の週末に図書館の座席が比較的埋まることから、図書館の一般利用者に配慮して、この期間に合わせ、平成 30 年 9 月、11 月の 2 回、高校生に限定して試験的に無料開放を行ったところ、利用者数は、9 月 6～13 日の 8 日間で 27 人ほど、11 月 3～19 日の 17 日間で 46 人ほどで、週末を中心に利用が多かった。生徒たちがレストランの四角いテーブルに 2～4 人ずつ座り、頭をつき合わせて勉強している様子が見られた。

今後の活用方法について、委員の皆様から意見を伺いたい。

（佐々木フミ子委員）

やはり、新しい駐車場というのは考えたほうがいいのでは。正面からしか入れないので、場所も分かりにくい。

例えば、公演でお昼をはさむような場合にそこで飲食ができるようにしたり、そのスペースに到るまでの案内表示等も充実させたほうがいい。そのためにも、すぐそばに駐車場があるということになれば利便性は大きくなるため、企画として考えるのはいいことだと思う。

（千葉館長）

確かに、場所の面からしても分かりづらいところにあり、さらに現在の駐車場からそこに到るまで距離があるというデメリットもある。

ただ、すぐそばに新しい駐車場を整備するとなると、やはり予算面での課題が大きく難しいため、場所については PR の方法を検討する必要があるかと思う。

（千葉賀子委員）

私も何度かレストランを利用したことはあるが、閉鎖されている期間が長く残念に思っていた。眺めはとてもいいので、そこで飲食しながらおしゃべりやちょっとした打ち合わせができるような、フリーで使えるスペースにしてはどうか。

その時には、飲食ができるように自動販売機をおいたり、お弁当を注文できたりするようにしたり、先ほどの話題にも上がった案内表示を、表からも分かるように設置することも必要である。

また、厨房も併せてレストランスペースを貸し出すことができれば良いと思うが、その際は料金設定にも配慮が必要かと思われる。

(千葉館長)

このレストランは、設計者、市民、行政との間でのワークショップをもとに設けられた経緯があるが、フリースペースとしての活用も良い考えであると思うし、自動販売機についても業者から参考までに聞き取りしてみたい。

これまで3業者が採算が合わないことや人手不足などの理由から撤退しているため、当該スペースをもう一度レストランとして使うのは難しいと考えている。今のご意見を参考にしたい。

(酒井丈夫委員)

これまで三つの業者がレストランを経営したが、いずれも撤退したことを考えると、やはりそもそもの設置場所が悪かった。実際、図書館に来るお客さんの中でもレストランの利用者はほとんどいなかったように思うし、その上暗い。

中でも、天井を吹き抜けにしたことによるデメリットが大きい。再び業者を入れて経営させても同じ結果になると思われるため、使い方を工夫して考えていったほうが良いと思う。

(千葉館長)

今の意見の中で、なかなか“その通り”と答えづらい部分もあるが、実際そのような状況下にあるため、ご意見として受け止めておく。

(木川田企画政策部長)

先ほどの佐々木委員の意見の中で、レストランを前提に考えれば出入りのしやすさなどから、駐車場がそばにあると便利だというのはその通りであるし、また、酒井委員の言うとおりに、当初から吹き抜けにしたことによる冬期の暖房費は課題の一つだった。

また、千葉委員のお話で、そこにコーヒーマシンの自販機を設置した上で、フリーのスペースとして打ち合わせなどができるようにするというのもいい意見だと思う。

市政モニターの方々から寄せられた意見と合わせて、さらに検討を重ねていきたい。

その他、委員からの協議事項や質問等はなし。

6 閉会 (千葉館長)